

宇宙建築士

西本 敦貴

もし、私が宇宙飛行士になったら、月面に建物を造りたります。なぜなら、宇宙に関する技術は大きく発展し、宇宙を観光する旅行をする人も多くなると思います。もちろん、月に来る人も増化すると思います。そうなるし、トラブルも起きやすくなるし私は考えています。トラブルが起りにくするためには、建物を増やして、ストレス発散できる場所を設け、月面での生活を充実させれば、トラブルも起きにくくなるのと考えています。

「月面に建物を造るのは、宇宙飛行士がやらなくて良いのでは」と思う人もいるかもしれませんが、特別な訓練を受けた宇宙飛行士が造った部屋で過ごすのは、より安心安全な月面での暮らしを実現できますし、それによって夢の月面旅行をより楽しむものにできると思います。

月に行ったら造りたい建物は四つあります。一つ目は、「観覧タワー」です。観覧車ではなく、「観覧タワー」にしたのは理由があります。観覧車だと、ゴンドラが地表に対する角度が自由に動くように設計されている為、宇宙空間ではゴンドラが地面と平行になつてしまふ恐れがあります。しかし、タワーならその心配は有りませんし、自分が見たい高さ、角度を自分で決められる利点もあるからです。

二つ目は、「トランポリン場」です。月は地球の六分の一しか重力がありません。月面旅行をする人は、きっと地球ではできない体験をしたりはします。地球で行う時よりも六倍も高くジャンプできたら旅行者もきっと楽しんでいるでしょう。

三つ目は、「人工降雪場」です。月で雪遊びをしたら、どんなに楽しいでしょうか。ジャンプをすれば地球よりも高くとべますし、スキーが苦手な人や、小さな子供、スキーが

できない人もソリやスケートで、
「月面国際スキー場」を楽しめます。
ふんわりうかぶ雪の中を世界中の人と共に、
すべることができたらものすごく楽しそうですね。

四つ目は、「映画館」です。
どんなに月が楽しくても、ソリかはきッソリ地球ソリう故郷が恋しくなるでしょう。
そこで、地球の映画を見れば、故郷に帰ってきた感じを味わえられると思います。

宇宙はマレからの時代にかかせない存在になります。
月面宇宙旅行もその一つ。

私は建物も造れる宇宙飛行士になるために、
まずは、航空宇宙や建築の分野の本を読んだり、
建設中の建物を見たりして、
今できることから未来に近付きたいです。